

スポーツと震災復興 ～震災を風化させないために～

札幌大学束原ゼミC班

◎ 面来優希 長野亮友 中野恋 高屋沙里奈

- ▶ 背景
- ▶ 震災後の現状と課題
- ▶ 震災復興のための主な交流事業
- ▶ キヨマッププロジェクト
- ▶ 政策提言

国民の震災に関する調査

- ▶ →全国世論調査によると
- ▶ 「震災における関心が希薄になっていると感じる、または自分自身が
そう思うか」

- ▶ ときどき感じる 51%
- ▶ よく感じる 28%

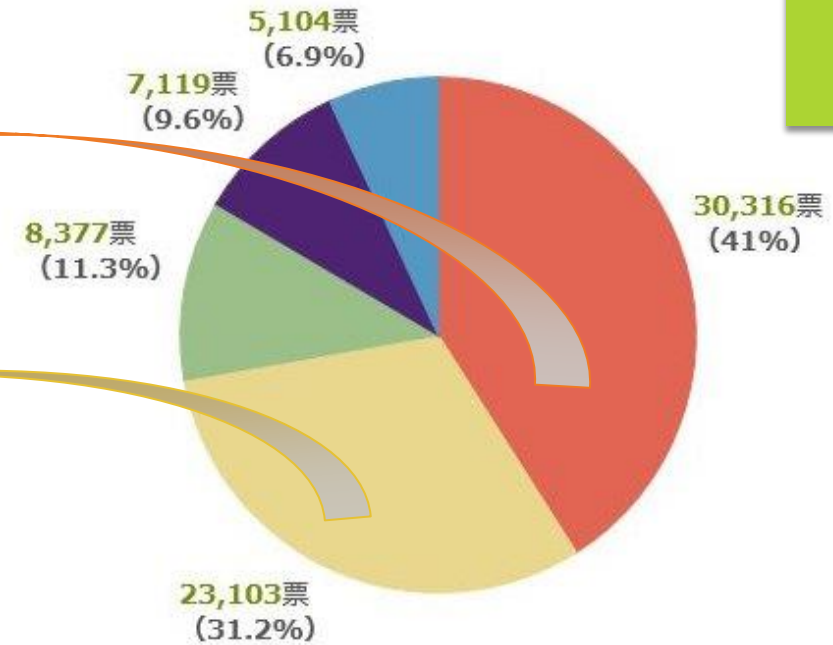
- ▶ 結果的に...

「風化」を感じる

およそ8割

さらに別の調査 では...

- ▶ どちらかといえば風化している
- ▶ とても風化している
- ▶ 「Yahoo! ニュース 意識調査調べより」



どちらかといえば風化していると感じる	30,316票
とても風化していると感じる	23,103票
風化しているとは感じない	8,377票
どちらかといえば風化しているとは感じない	7,119票
どちらともいえない	5,104票

※統計に基づく世論調査ではありません。結果は予告なく削除することがあります。
「意識調査」のデータ利用について

性別	
男性	75.4%
女性	24.6%

心的悪影響

- ▶ ・不安障害
- ▶ ・分離不安障害
- ▶ ・強迫性障害
- ▶ ・身体化障害、心身症
- ▶ ・睡眠障害、習癖の悪化、遺尿（夜尿）
- ▶ ・心的外傷後ストレス障害（PTSD） など...

- ▶ （文部科学省 平成23年6月24日）

スポーツを使う意義について

- ▶ 精神的なストレスの発散、心身の健康の保持増進
- ▶ スポーツを通じて住民相互の連携を深められる
- ▶ 地域再生につながる

文部科学省HPスポーツ振興基本計画1総論より



- ▶ 現在、ユニセフでは、運動を用いて子供たちの不安を解消する活動を積極的に行っている



このことから...

- ▶ スポーツを利用して、震災を風化させないための活動に必要な条件を提示する

交流事業について

- ▶ 各地で行われている交流事業

岡山県・・・AMDAの行っている事業



釜石中、大槌中、志津川中 を 岡山県に招待



サッカー交流

東京都・・・八王子市と福島県福島市の交流事業



八王子市で少年野球大会

岡山県（AMDA）のサッカー交流

10

- ▶ 2011年8月に6日間渡り開催
- ▶ 先生を含む52人を岡山に招待
- ▶ 試合や交流戦を行った



・試合後のホームステイが
すごく楽しかった

・絆や笑顔の力
を改めて知った



・他の中学校と交流して、
協力することはすごいこと
だと思った

サッカーをすること自体よりも



新しい出会いや、交流することが
残ったという声も多くあった

北海道の交流事業（Kiyomap project）

13

北海道教区のお寺の住職辰田真弥氏



早い段階から被災地での支援活動



経験が積み重なり



ぜひ町をあげて取り組みたい



被災地に赴くだけでなく、子供たちを受け入れたい

Kiyomap project

14

→2014年夏から実施



→サッカー交流をひとつの柱

地域間交流と保養を目的に行われている

キヨマッププロジェクト実施

15

平成28年7月30（土）～8月3日（水）

- ▶ サッカー交流
- ▶ プロ野球観戦
- ▶ ジンギスカンパーティー
- ▶ 記念品作り



キヨマップ事務局の辰田さんと栗沢中元顧問 の沼崎さんにインタビュー

16

? なぜキヨマップを始めたのか

→理由は探さない、やりたいからやる

始めようとしたときにみんなが賛同してくれた

? 交流してよかった点

→子供たちや保護者の気持ちがわかる

震災へのリアリティが伝わり、他人事ではなくなった

? 今後はどのような活動をしていくのか

→復興というよりも協力

福島のためにやってあげてるのではなく **協力する**

インタビューを経て

- ▶ 大学生企画を提案
- ▶ 2016年7月31日 実施



年齢、性別、体格に捉われず
誰でも楽しめる ゆるスポーツ

大学生企画

19

『水風船バレー』

- 水風船でバレーボール
- 相手のコートで爆発するとポイント



『ハンドソープボール』

- 手にハンドソープをつけてハンドボール
- 胸でキャッチすると1プッシュ!



↳ プレーヤーだけではなく、保護者たちも笑顔に

大学生企画後...

▶ ジンギスカンパーティーに参加



記念写真→



キヨマップアンケート調査

21

	1年	2年	3年	高校生	保護者	全体
栗沢中学校	6	6	9	2	0	23
川俣中学校	8	2	2	5	2	19

Q、キヨマップに参加したきっかけは？

A・相手の学校と交流したかったから 14票 33.3%

A・サッカーがしたかったから 11票 26.2%

Q、1番印象に残った企画は？

A・夜のイベント 20票 47.6%

A・ジンギスカンパーティー 10票 23.8%

A・サッカー交流 6票 14.3%

サッカーをすることが最も重要ではない



人と思いを共有し、継続的な関係を築き上げる



被災地の子供、保護者の方々が求めているのでは？

キヨマップまとめ

23

- 被災者の方々と交流
 - 新しい知識、新しい情報を得る
- 指導力、企画力を養う
 - 震災復興イベントなど企画のきっかけ



思いを共有し、コミュニティを長期的に築く。
私たちに求められる「関わり方」

- ▶当初、スポーツ事業を行うこと自体に意義があると考えていた



しかし...

主な交流事業から

25

岡山の交流事業では

11

サッカーをすること自体よりも



新しい出会いや、交流することが残ったという声も多くあった

キヨマップアンケート調査

20

	1年	2年	3年	高校生	保護者	全体
栗沢中学校	6	6	9	2	0	23
川俣中学校	8	2	2	5	2	19

Q、キヨマップに参加したきっかけは？

A・相手の学校と交流したかったから 14票 33.3%

A・サッカーがしたかったから 11票 26.2%

Q、1番印象に残った企画は？

A・夜のイベント 20票 47.6%

A・ジンギスカンパーティー 10票 23.8%

A・サッカー交流 6票 14.3%

とあったように
私たちも実際に参加してみてください...

- ・新しい出会いや経験は大切なものになった
- ・改めて人との繋がり、交流の必要性に気がつくことができた

→言葉や映像では伝わらないリアルがある

震災を風化させないために
今後も私たちにできることを積極的に行っていきたい

- ▶ スポーツを核に同じ思いを持った人が集まる
→ 継続的な関係を作り、維持する



そのためには

運営面でサポートし、思いを聞き入れ寄り添う

思いを共有

寄り添う



長期的な関係

それが...

▶ スポーツを用いた被災者との交流事業の成功条件

参考引用文献

- AMDA (2013/9/19) 救える命があればどこへでも amda.or.jp
- 東京都体育協会 (2016/8/15) 「被災県とのスポーツ交流事業」の実施について
Metro.Tokyo.jp>press>2016/08/15
- 毎日新聞 (2016/3/13) 社説 大震災から5年 子どものケア 見えない 傷に寄り添う <http://mainichi.jp/articles/20160313/ddm/005/070/003000c>
- 文部科学省 (2011年度) 文部科学省HPスポーツ・青少年局・体育課
スポーツ振興基本計画総論 www.mext.go.jp>a_menu>sport>plan
- 日本ユニセフ協会 (2016/3) 緊急・復興支援 5年レポート P7~8
http://www.unicef.or.jp/kinkyu/japan/pdf/5_year_report.pdf

ご清聴ありがとうございました。